年度末報告書（実行団体）

● 提　出　日　：　　2022 年　　4 月　　27 日
● 事　業　名　：　認知症の人や介護家族がいきいきと自分らしく暮らせるためのピアサポートネットワーク構築事業
● 資金分配団体　：　社会福祉法人　中央共同募金会
● 実 行 団 体　：　公益社団法人　認知症の人と家族の会
● 新型コロナウイルス対応緊急支援助成（通常枠での追加助成）の有無　：　☐有　☑無

① 実績値

【資金支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況＊
運営者の人材育成と後継者養成の会議	会議参加者が課題共有や実践方法を習得	参加者 500 名	2021 年 3 月	2021 年度参加者数 322 名（コロナで1ブロック未実施）	1
運営者の資質の向上のための研修会	先駆的な実践者の発表やグループワークでの学習	参加者 120 名	2021 年 3 月	2021 年度研修会に 161 名参加（最大値）	1
リーフレット等を作成し当会の活動周知や入会案内の実施	仲間とつながりや支援先として当事者の会である当会を知らせる	会員数 12,000 名	2021 年 3 月	2022 年 3 月末会員数 10,043 名	2

認知症当事者の情報一括管理	会員データ、つどい（交流会）参加者データの連結による効率化・有用化	会員・つどい参加者 20,000 名	2023 年 3 月	会員情報管理システムを刷新し会員データ移行中。	3
交流・相談活動専門委員会の設置	事業の検討・円滑化	年/6 回	2021 年 3 月	年/14 回	1

＊進捗状況：1 計画より進んでいる 、2 計画どおり進んでいる 、3 計画より遅れている、4 その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
1.達成の見込み
2.アウトカムの状況
A：変更項目 ☑変更なし　☐短期アウトカムの内容　☐短期アウトカムの表現　☐短期アウトカムの指標　☐アウトカムの目標値
3. 活動に関する報告
1．全国 7 ヵ所でのブロック会議の開催 ・「家族の会」は認知症について何も情報や支援のない時代より、認知症の人を介護する家族が集まり、経験や情報を交換しながら、家族が家族を支援している。専門職との輪も創り、介護保険制度をはじめとする社会的支援を広げる活動をし、今日に至っている。認知症の支援には、本人支援とあわせて家族支援が必要であり、本人支援と家族支援は対立や二者択一でもない、双方の支援を車の両輪として確立し、本人と家族がともに安心できる社会支援施策が必要である。また家族支援の視点には人権擁護もあるとのこれまでピアサポート活動の到達点を振りかえりながら、ブロック会議で議論した。 ・認知症の人の家族が求める家族支援とは、今ある介護保険制度をもっと使いやすくして欲しい、介護保険制度では担えない狭間にも目を向けた支援であった。介護休暇の活用、介護に専念するため介護離職し介護に比重を置く選択を支援、その努力がその後の介護家族の人

生でも保障される、あるいは介護を他人に委ねての選択肢も尊重されることなど、認知症施策推進大綱では明記されていないその先の支援のあり方が見えた議論であった。認知症の人の家族への支援に対する法制度を検討する必要も浮かびあがってきた。この多様性は今後の介護家族での重要なピアサポートの視点であることが明確になった。

・上記の「家族支援」をテーマとして、ブロック会議の他、支部交流会や支部代表者会議等でも機会があるごとに意見交換を行った。

２．運営者のための交流・相談活動研修会の開催・全国本人交流会の開催

・当年度の本人交流会開催にあたり、運営者のための研修会を 9 月に開催した。内容は課題であった当事者主体の運営について本人委員との研修内容協議から、本人と運営者の鼎談とグループワークで基本的な視点を学び、交流会開催に向けた課題を話し合った。「どのような工夫が必要か」「どうすればお互いを支えあえるのか」について可視化できた研修会であった。この研修会を受け、8 支部が助成事業で本人交流会を開催した。企画内容はいずれも本人が「やりたい」という希望が仲間やサポーターと実現したもので、ピアサポート活動の新たな展開が実現した。

３．認知症啓発ツール作成と配布、ＨＰやＳＮＳの活用・介護家族対象のつどいの拡充

・2021 年度世界アルツハイマーデー関連の広報物は、認知症の人が撮影した写真でその被写体の表情も含め好評だったため、追加印刷した。リーフレットの街頭での配布はコロナ禍で中止・縮小された分、新たな場所での配架を実施し活動の幅を広げた。

・「家族の会」周知や認知症への理解を広めるハンドブックおよびガイドブックは支部が積極的に会員増、「家族の会」周知での利用が進み、増刷した。「家族の会」周知から入会までを目標としていたが、他の課題もあり達成には至らなかった。

・認知症支援のオレンジ色に全国の城やタワー・名所旧跡等ライトアップする事業は昨年より 10 カ所増え 112 ヵ所となった。コロナ禍の中で新たな認知症啓発活動として始めた「Live!ライトアップ 2021」は 23 カ所を中継・YouTube 配信し、昨年に引き続き「元気を得た」「つながっていることを実感した」好評で 3,377 件の視聴を得ている。また、この取り組みは行政、企業などとの連携により実施しておりピアサポート事業の展開にもつながるものである。

・認知症の人の写真展「記憶とつなぐ」を商業施設広場でトークショーとともに開催した。認知症の病態の幅の広さや理解、認知症の人が何も出来ない人でなく、能力を生かした支援の重要性を知っていただく機会となった。

・コロナ禍の影響は大きく、「家族の会」を知っていただく講演会、“つどい”など直接に顔を合わせる機会がなくなり、昨年よりさらに新規入会者は減少した。しかし、会員継続者数は前年度を上回り、過去最高を更新した。支部運営者が電話や手紙などで、直接に会えなくて

もつながっていることを実感できる方法を工夫した結果である。

・「家族の会」のピアサポートの原点である“つどい”を何とか開催できないか、より適切な感染対策をと努力し、オンライン開催の増加、アクリル板の設置、戸外での開催などで継続実施を行った。電話相談では、直接に会えないところをカバーしようと、ポスター作成や会報表紙の目立つ位置に電話相談番号を掲載、認知症の人を介護する人に電話相談周知のため、携行できる名刺大のカードを作成し、介護家族を直接支援している民生児童委員やケアマネジャーに配布など取組を広げ、電話相談件数は増加した。

・全体の運営執行するための協議をする業務執行理事会を毎月開催した。コロナ禍の影響下のためハイブリッドで行った。また、各専門委員会には昨年度から参画した外部委員の加入により幅広い議論となり、課題解決を前進させた。

6. 新型コロナウイルス感染拡大に対して、事業活動を行う際に工夫した点

・研修会等の開催にあたり、手指の消毒や室内喚起の徹底、会場参加者を制限して安全な距離を保つなどの工夫をした。

・オンラインのみ、または参集も合わせたハイブリッドで研修会や会議を開催した。

② 広報に関する報告

1. シンボルマークの使用状況

☐自団体のウェブサイトで表示している　☑広報制作物に表示している
☐報告書に表示している　☐イベント実施時に表示している　☐その他
→「その他」を選択した場合は記載してください（自由記述）：

2. 広報

1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等）

・世界アルツハイマーデー：京都新聞 2021 年 9 月 6 日、読売新聞 2021 年 9 月 12 日、毎日新聞 2021 年 9 月 21 日

・ハンドブック：2021 年 9 月 1 日読売新聞（福岡版）

・ガイドブック：2021 年 4 月 18 日京都新聞

2.広報制作物等

・世界アルツハイマーデーリーフレット　2021 年 7 月　372,600 部

https://www.alzheimer.or.jp/wp-content/uploads/2021/07/WAD2021leaflet.pdf

・世界アルツハイマーデーポスター　2021 年 7 月　14,640 部

https://www.alzheimer.or.jp/wp-content/uploads/2021/07/WAD2021poster.pdf

・ハンドブック「認知症と向きあうあなたへ」　2021 年 9 月増刷　10,000 部

https://www.alzheimer.or.jp/wp-content/uploads/2020/02/handbook_2020_mukiau_web.pdf

・ガイドブック「認知症の人と家族の思いをより深く知りたいあなたへ」2021 年 10 月増刷　10,000 部

https://www.alzheimer.or.jp/wp-content/uploads/2020/12/Guidebook2020.pdf

3.報告書等

4.イベント開催等（シンポジウム、フォーラム等）

④規程類の整備に関する報告

1.	事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
	☑完了　□整備中
2.	整備が完了した規程類を web サイト上で広く一般公開していますか。
	☑全て公開した　□一部未公開　□未公開 →「一部未公開」「未公開」を選択した場合の理由と公開予定日：
3.	変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。

☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：

⑤ガバナンス・コンプライアンスに関する報告

1.　社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
2.　内部通報制度は整備されていますか。
☑はい　　☐いいえ →「はい」の場合の設置方法（複数選択可）：☑内部に窓口を設置　　☐外部に窓口を設置　　☑ JANPIA の窓口を利用
3.　利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
4.　関連する規程の定めどおり情報公開を行っていますか
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
5.　コンプライアンス委員会は定期的に開催されていますか。
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：

6.　報告年度の内部監査又は外部監査を実施予定ですか。（実施済みの場合含む）
☑内部監査を実施　　☐外部監査を実施　　☐実施する予定がない →「実施する予定がない」を選択した場合の理由：

添付資料

活動の写真（画像データは 1 枚 2 MG 以下、3～4 枚程度）

↑本人（若年）研修会の参加者（運営者）